

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」高砂事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		室内空間を広く利用できるようにしています。	コロナ禍では、同時間に支援がある場合、密を避けるよう工夫しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		パーテーションを使用し、支援の場所を構造化することがあります。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃、消毒を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年 1 回、評価表への回答にご協力頂いています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現時点では、外部評価は実施していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内での法定研修、初任者、管理者研修など、職員に合った研修に参加しています。	外部研修にも今後より積極的に参加していきたいです。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントの上、作成した計画内容を基に、保護者の方に説明、同意を頂いております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別に作成した支援計画に基づいて支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で互いに相談しながら立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様に楽しんでいただけるよう、支援内容を検討しています。	お子様に合わせて、意図的に固定化しているプログラムもあります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		小集団の時間も取り入れることがあります。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い、前日・当日の情報共有を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝礼や、支援記録を確認するなどして情報の共有を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の支援記録を必ず作成し、職員間で共有と改善に努めています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回、計画更新を実施しています。	必要に応じて、半年の期間中に内容の見直しについて判断を行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管及び担当指導員が担当者会議に参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、外部との連携を行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医ケア児の利用はございません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医ケア児の利用はございません。

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今年度は今のところ実施実績はございません。相談員さんとの連携の下、必要に応じて行っています。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今年度は今のところ実施実績はございません。相談員さんとの連携の下、必要に応じて行っています。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		職員 1 名が研修参加し、内容を他職員に共有している。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今現在は行っておりません。利用者様の希望があれば検討させていただきます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		代表者が参加し、事業所内で情報共有を行っております。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援後にフィードバックを行っています。事業所内相談支援を実施しています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		今年度は保護者向けイベントを開催させていただきました。	今後も事業所内相談や保護者向けイベントを企画していきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や、規定内容に変更がある際に説明しております。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画作成に伴い、アセスメントを行った上で計画書に反映させています。作成した計画は説明・同意を頂いています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談の機会を設けております。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度は保護者向けイベントを開催させていただきました。	イベント参加が難しい方が多く、幅広い交流には繋がっていません。イベント内容や日時を検討の上、今後も開催致します。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログ更新や、LINE 配信を行っています。	

非常時等の対応	⑳	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる指定場所に保管しています。	
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在、地域の方々との関わりの機会は設けておりません。
	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎年、社内研修を行いマニュアルの内容を確認しています。マニュアルは玄関に設置しています。	
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災訓練は月 1 回テーマを変えて行っています。	
	㉕	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前の面談時に聞き取りを行っています。	服薬状況に変化があれば、保護者の方と情報共有させていただいています。
	㉖	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供は行っていませんが、保護者の方からの情報提供を頂いています。	
	㉗	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット、事故報告書の作成を行っています。	
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、定例研修を行っています。	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に身体拘束同意書の説明を行い、皆様に同意を頂いています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」高砂事業所 保護者等数(児童数):4名(5名) 回収数:4名 割合:100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			2	保育園には通っていることをお伝えしないようお願いをしています。	利用者様のご要望に沿う形で対応させていただいています。その場合は、情報共有や提供は可能な範囲で行っております。
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3			1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1		2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1		1		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。